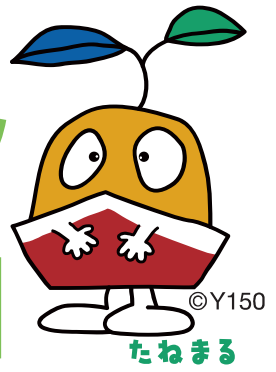


創発カワラバン



ヒルサイドエリア・Y150つながりの森は2009年7月4日(土)～9月27日(日)開催!
会場:ズーラシア隣接地区 主催:(財)横浜開港150周年協会

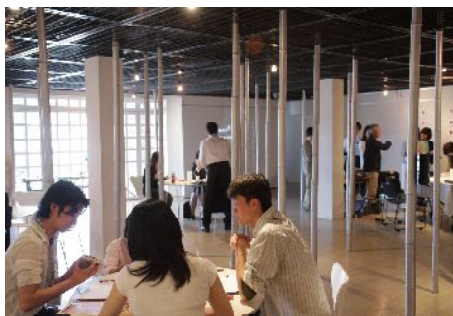
vol.09



横浜赤レンガ倉庫に「CAFÉ/CO-COROMI」が出現しました。

5月31日から6月2日の3日間、横浜赤レンガ倉庫1号館で、1年後に迫ったY150の市民参加イベントとして「ハマ波150」が開かれました。横浜の「市民力」とY150の最新情報を発信しようというイベントです。このイベント会場に市民創発プログラムをPRする市民創発カフェ2008「CAFÉ/CO-COROMI」が出現しました。

「私たちのココロミをあなたとつなごう」というコピーが大きく掲げられたカフェ・ブースには、進行中のプロジェクトを一覧にしたパネルが並び、フロアに用意されたテーブルでは旧若葉台西中でのワークショップをミニ体験するプログラムや即席のメンバー募集説明会が展開していきました。



「プロジェクトに参加したい」とカフェを訪れる人たちも

「共感できるプロジェクトがあれば参加したい。ここにすれば情報があるので、と考えてやってきました」と話してくれたのは、仲間6人とカフェを訪れた市川幸一郎さんです。消費生活アドバイザーをしている市川さんは、消費者視点で地元で役立つ活動がしたいと考え、市民創発事業に協力できないかと模索

しているそうです。カフェのスタッフからプロジェクトの一覧表を受け取り、熱心に質問していました。

「CAFÉ/CO-COROMI」には、連日創発メンバーがやってきて、自分のプロジェクトをPRをしたり、来場者と交流していました。創発メンバーに誘われて来たというメンバーの友人や家族も多く、「話は聞いていたけれど、今日ここに来てみて、やっと彼が何をしているのかがわかりました」と笑いあう様子もありました。「こうやって人と人のつながりの中で広がっていく形が創発プロジェクトのスタイルなんだろうね」とスタッフが語り合っている姿が印象的でした。

(写真撮影:高橋宗正)



創発メンバーが会場の空間づくりを企画した [CAFÉ/CO-COROMI]



赤レンガ倉庫に登場した市民創発カフェ2008「CAFÉ/CO-COROMI」の空間づくりは創発メンバー有志の力で進められました。

カフェ・ブースを飾った竹のインスタレーション[Cool bamboo]は、企画・設計を西村猛さんが担当し「間伐材プロジェクト」のメンバーを中心に清原理チーフ・ファシリテーターのもとでワークショップをして制作しました。会場への設置もプロジェクト・メンバーが行いました。

カフェで行われたワークショップを企画したのは、チーフ・ファシリテーターの

沼田真一さんと志塚昌紀さん。この2人に創発メンバー有志とサポートスタッフ有志が加わり「ワークショップ・バリスタ」として来場者を迎え、「私の好きな横浜」をテーマにバツハ・キュービック体験のプログラムを提供しました。カフェの壁

一面を来場者が書いたバツハ・キュービックが埋め尽くしました。ワークショップ・バリスタをつとめた宮田裕輔さんは、「U-25プロジェクトのミーティングで誘われてきました。初めてファシリテーターをしましたが楽しかったです」と語っていました。

会場内では、「みんなのCMを流したい。」プロジェクトの梅香矢聡さん、芦澤さんが企画・制作した「創発メンバーCM」が上映され、「Heart Card プロジェクト」の小林清乃さんが「自分の活動を知ってもらいたい」とカードの展示をしていました。

さらに会場内の「ハマ波広場」では、和服リフォームのファッションショーなどに創発メンバーが続々と登場し、メンバーのパワーが発揮された3日間になりました。
(写真撮影:高橋宗正)

Y150つながりの森「開幕1年前イベント」におこしく下さい!

7月5日(土)・6日(日)
横浜市営地下鉄「センター南」南口
「すきっぷ広場」にて開催!

イベント会場では、さまざまなステージイベントやワークショップがあります。またプロジェクトメンバーの募集説明も

同時に開催され、プロジェクトを直接知ることができます。お気軽におこしく下さい。イベントの詳細は、ヒルサイド公式サイトをご覧ください。
<http://hill.yokohama150.jp/>

連載「コ+コ=∞」 馴染みある竹の「新しい表情」を表現しました。

「CAFÉ/CO-COROMI」で竹の空間を演出した西村猛さん(写真前列中央)にメイキング話をうかがいました。

「今回のポイントはカッコいいこと」と語る西村さんは、デザイン事務所を主宰しています。「市民がやっていることは有意義なことだけど表現が野暮たいのがイヤなのでデザインのところでお手伝いできればと思いました。」竹を切って銀

西村 猛さん&創発メンバー有志

色のスプレーを吹いたりという作業は創発メンバー有志と一緒に行いました。会場への竹の配置も、動線のポイントになるところは西村さんがデザインをしましたが、その後は創発メンバーが自由に竹を置いていき完成させました。「予想以上によい空間になったと思います」と西村さん。7月5日、6日の「開幕1年前



イベント」では、創発メンバーによる竹を使った会場づくりを予定しています。

編集・発行元:ヒルサイド市民参加事務局(2008年6月18日発行)

お問い合わせ

TEL:045-662-6482(月~金※祝日の場合を除く:10時~17時)(財)横浜開港150周年協会「ヒルサイド市民参加」事務局

E-mail:hill@yokohama150.jp ホームページ:<http://hill.yokohama150.jp>

本紙の内容の一部または全部を無断で複写(コピー)することは、法律で定められた場合を除き、発行元の権利の侵害になります。